

体育会リーダーズキャンプ編

文・撮影／専大スポーツ編集部 藤森峻祐（文3・編集長）、
高橋玲央（法3）、高田康平（経営2）

チームを率いるリーダーシップを学ぶ



グループワークを指導する株式会社大学スポーツチャンネル・キャリアサポート事業部マネージャーの中島幸司氏



第54回専修大学体育会リーダーズキャンプが体育会本部主催（委員長大橋健太・ネット4）で2月26、27日、静岡県伊東市にて開催。体育会の主将と主務の108人が「チームマネジメントのための意識改革」をメインテーマに、リーダーの役割と勝つための思考と行動を学んだ。「理論編」と題した1日目は、戦術と運営の2つの面から強いチームの共通点を探った。グループワークでは前で引っ張るだけでなく、後ろから支える「サーバントリーダーシップ」についても学んだ。「実践編」と題した2日目は、リーダーとしての思考形成について学びながら、強いチームになるためにすべきことを考えた。

同じ体育会でも普段はあまり接点のないリーダー同士で寝食を共にしながら交流を深め、刺激し合ったのも大きな収穫。ここで得たものは各部できっと活かされるだろう。



第54回専修大学体育会リーダーズキャンプ



グループワークで話し合うなかで、いろいろな部の現状を知ることができました。サーバントリーダーシップの考え方は、試合につながるものです。スクラムハーフとして最前線で体を張りつつ、後ろからも支えていきたい。ここで学んだことを部で共有し、目標である大学選手権出場を果たすため、リーグ戦上位3校に入れるように頑張ります。

ラグビー部主将
高橋昂平（経営4）



中島さんの話で印象に残ったのは「理解されるよりも相手のことを理解する」という言葉です。自分を理解し、チームの一人一人を理解することが全体の結果に結びつくと感じましたので、人を理解することを心がけたいと思います。今年度はAリーグに復帰し、全国大会に出場することが目標です。学んだことをチームに還元していきます。

女子ゴルフ部主務
矢口愛理（商3）